

こ みち
教育の小径

【今月の花】
フジ
【花ことば】
あなたを歓迎します

今月の記念日 ごみゼロの日(5月30日)

この日は「ご(5)、み(3)、ゼロ(0)」の語呂合わせです。1982年(昭和57年)に、関東地方の知事会が、美化キャンペーンとして提唱した環境美化運動の日に由来します。その後各地に広がり、1993年(平成5年)に当時の厚生省が制定したごみ減量推進週間の初日になりました。



国士舘大学教授
北 俊夫先生

今月の
テーマ

ものやお金を大切にせる教育

- ものやお金を大切にせる教育は、全教育活動を通じて行う課題です。そのため、どこでどのように指導するかを明らかにすることが大切です。
- 望ましい金銭感覚は、道徳の時間に子どもの心情に訴えとともに、社会科や家庭科などで知的に理解させることによって育っていきます。

望ましい金銭感覚を育てる

日常生活において、ものやお金を大切に使うことは重要なことです。ものやお金を大切にせる教育は、これまで道徳の時間を中心に金銭教育として実践されてきました。最近では、広く金融教育とされています。

ものやお金を大切にせることは、望ましい金銭感覚を育てることであり、「生きる力」を育てる教育につながるものです。では、こうした教育をどのように進めたいのでしょうか。

まず、「大切に使う」とはそもそもどういうことかを考えることと、具体的な指導の手だてが見えてきます。

「大切に使う」とは、無駄にしないことです。より具体的には、目的に応じて、計画的に、最後まで、感謝の気持ちをもってなど、さまざまな要素を含んでいます。このように考えると、ものやお金を大切にせる子どもを育てるためには、日常生活においてさまざまな場面があり、いろんな手だてがあることに気づきます。

お金を使う方法には、消費する、預貯金するほかに、借りたり貸したりする、募金や寄付をするなどの使い方がありま

す。投資することも使い方の一つです。お金はこうした多様な使い方があることについて、子どもの発達段階を踏まえて指導します。

ものを大切にせる態度

ものを大切にせる教育やしつけは従来から熱心に行われてきました。ところが、物質的に豊かな時代になると、どうしてもものを無駄にしがちです。

最近では、「もったいない」という気持ちと実践力を育てる教育が行われています。また、食事などの前後に「いただきます」「ごちそうさま」と挨拶をする意味も指導されています。

子どもにとって教師は重要な人的環境です。率先垂範という言葉がありますが、教師がものを大切にしている姿を子どもたちに見せることも大切です。モデルを見せるのです。

道徳の時間には、ものを大切にせることについて子どもの心情に訴える指導を行います。子どもたちに内省を促し、これからの自分のあり方を考えさせます。また、社会科や総合的な学習の時間には、身近なものがどのように作られているか。そこで働いている人たちはどのような努力

や苦勞をしているのかを具体的に学ばせます。これによって、ものを大切にせることの意味を知的に理解するようになります。

子どもの心情に訴えつつ、知的な理解を深めることによって、ものを大切にせる心や態度が育っていきます。

全教育活動を通じて実践

ものやお金を大切にせる教育は道徳の時間をはじめ、社会科や家庭科、学級活動、生活科などで指導することができます。社会科では5年で「価格や費用」について扱います。家庭科では「小遣い帳」を取り上げます。国語科や図画工作科などは、ものやお金を題材にすることができます。ものやお金を大切にせる教育は、全教育活動をとらして展開する課題です。どこでも実践することが可能です。

子どもたちは、毎日の生活でお金を使っています。にもかかわらず、これまではお金に関する教育が十分に行われてきませんでした。学校でお金のことを扱うことを避ける傾向も見られました。そのため、お金に関するトラブルに巻き込まれたり、トラブルを起こしたりしています。こうした問題を解決するために、お金に関する教育を重視することが求められています。

音楽科の学習指導要領によると、中高学年では、歌唱で取り上げた教材や器楽のためにつくられた重奏や合奏の楽曲が器楽教材になるとしています。重奏とは複数の声部を、一人が一つを担当して同時に楽器で演奏することです。合奏とは複数の楽器で同時に演奏することです。

いずれにおいても、自分の持ち場をしっかり果たすとともに、他の楽器との協調と調和が求められます。一人で演奏するときと違い、みんなが共通の目標をもって心をひとつにします。それぞれの分担と役割を明確にし、協力して一つの作品をつくっていきます。

うまく演奏ができなくてつまづいている友だちを支えたり、上手に演奏している友だちから学んだりすることもできます。その意味で、合奏という活動には、表現の能力を高め、音楽表現の楽しさを味わわせるという音楽的な目標を実現させるだけでなく、集団の質を高めることができるという意義があります。合奏をととして学級のよりよい人間関係をつくることができます。



子どもは環境によって教育されると言います。環境には、人的なものほかに、物的なものがあります。それらが醸し出す空気や雰囲気も環境です。

教室の環境を構成するものに掲示物があります。掲示物には大きく分けて常掲のもの短期のものがあります。前者には、学校や学年・学級の目標、時間割表、子どもたちの係活動の分担表、発表の仕方など話形指導のための掲示物などがあります。

一方後者には、子どもたちの習字や絵画などの作品のほかに、社会科や理科、生活科などの学習で作成したワークシートなどがあります。また授業で使った学習資料を掲示することもあります。これらは学習の進行とともに変わります。常に化する掲示物です。

教室の掲示物は、教師が掲示するだけではありません。子どもたちが自分たちの思いで主体的に掲示する場合があります。例えば、昨日の新聞のなかから興味をもった記事を掲示するように促すと、子どもたちが社会や社会的事象に関心をもつようになります。

作品などを掲示するときには、子どものプライバシーを侵害することがないか。人権への配慮が十分になされているかなど、教師として目配りが必要であることは言うまでもありません。



教育キーワード 漢字の数

平成22年11月に、改定常用漢字表が告示されました。新たに196の漢字が追加され、5字(勺、錘、銑、脹、兪)が削除されました。全体で、2136字になりました。

平成20年3月に告示された学習指導要領には、小学校1年に80字、2年に160字、3年に200字、4年に200字、5年に185字、6年に181字がそれぞれ配当されています。

常用漢字表の改定によって、本来であれば小学校における学年別漢字配当表を見なおす必要があります。しかし本年度から新学習指導要領が全面実施されていること、新しい教科書がすでに給与されていること、どの学年にどの漢字を追加するかについての研究が必要であることなどから、小学校では学習指導要領に示されている現行の漢字の数を指導することになりました。

学級通信に使える今月のイラスト



カーネーション



身体計測

編集後記

今月号の原稿を北先生にいただいたのが2月の半ば。その後の大震災を経て読み返すと、ものやお金を大切にすることの重要性が、あらためて痛感させられます。

被災された方々に心よりお見舞いを申し上げますとともに、1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。(H記)

Information (PR)

計算指導でお悩みの先生方へ

小学校算数

これでバッチリ!
計算指導

- ◎編著 清水静海
- ◎定価 1,890円(税込)
- ◎発行 株式会社文溪堂

B5判 144ページ

計算指導の
具体的指導案が
バッチリわかる!

